

# 名瀬たかの台地区の振り返りについて

## 5か年の主な取組み実績

助成金額合計: 33,469千円

- **民有地緑化**: 沿道の緑化として宅地延べ113件の整備や、地区の玄関口の緑化(よう壁緑化)を実施
- **活動支援**: ハンギングバスケットの技術研修やコンテナの寄せ植え研修、花草の育成に関する講習会、プランターの植え替え活動、会報の発行等を実施



これまでの活動で、  
こんな緑のまちづくりの成果がありました。

### 延べ113件の住宅で緑化整備を実施

地区内のおおよそ3割もの住宅において、地区の取組に賛同し、沿道に面した緑化整備を行いました。このように地区全体で緑化が進んだのは、日頃の自治会の活動への理解や広報誌などによって、成果が共有されたことにより、「実際に整備された場所を見て、自分の家もきれいに緑化をしたくなった」ことや、会のメンバーによる積極的な声掛けなどが大きな成果につながりました。

### 緑に対する意識の高まり

緑化技術の習得のため、プランター寄せ植え講習会などを継続して開催してきました。その結果、講師ができるほどの腕前になった方がいるなど、緑や花に関する人材が育てられたほか、「近所にあるきれいなプランターをみて、今度は自分も参加したくなった。」などの緑や花に対する意識が高まり、活動の広がりにつながりました。



▲民有地のフェンス緑化



▲プランター寄せ植え講習会の様子



## 5か年の取組みを振り返って...

※地区のインタビューのコメントから抜粋

“花と緑があふれる  
たかの台”を  
目指して

民有地の緑化整備は、助成金を活用して行ったものだけでなく、周囲の緑化に共感して、自主的に緑化整備を行ったお宅もあり、改めて、花と緑への意識が高まったことを実感しています。また、「花や緑は、目の保養にもなるし、改めて緑の大切さを感じている」「花をみると心がなごみ、自然と笑顔になれる」「花と緑への関心がこの5年間で飛躍的に高まった」など、花と緑の活動の広がりを象徴する意見が多く聞かれました。今後も自治会を中心に、豊かな緑環境を守り育てていきたいと思っています。

# 横浜みどりアップ計画

## 地域緑のまちづくり事業

名瀬たかの台地区

### 名瀬たかの台地区みどりのまちづくり会【5か年の取組み】

- 協定締結期間
- 平成
- 23-27
- 年度

横浜みどりアップ 葉っぱ



地区の諸元(計画策定時)

- 地区面積: 約4.5ha
- 人口: 約800人
- 住所: 戸塚区名瀬町の一部

名瀬たかの台地区はココ!

## 事業に取り組むきっかけ・背景

平成21年10月、戸塚区役所を通じて、地域緑のまちづくり事業のモデル地区としての意向確認があり、地域をより良くするための機会と捉え、自治会役員会で実施を承認を決めました。計画策定には、座長を自治会長とした公募による14名がプロジェクトチームを結成し、平成22年2月から、19回もの検討会を開催して計画づくりを行いました。

## 取組みの概要

### 「花と緑があふれるまち・たかの台へ」

- ① 道路に直接面する境界(よう壁等)の部分に目を向け、民有地緑化を推進
- ② 雨水貯留や水路を利用した灌水システムなど、自然の恵みを活用したエコロジカルな緑の育成環境の整備
- ③ 公有地緑化については、地区内の公園や水路等に目を向け、地域住民自らが使いながら楽しく育てる空間としていく